

「就職が不安」というアナタへ

5200人が集まった「全国青年大集会2010」
(5月16日 東京・明治公園)

「生まれたときが悪かった」と あきらめる 必要はありません



『氷河期の再来』という深刻な就職難がおそいかかっています。
就職先が決まるかどうかは、「自分の責任」と思いがちです。
しかし、こんなことがくりかえされる経済社会の方こそおかしいのではないのでしょうか。
日本共産党は、就職難を打開するための「提言」を発表しました。



日本共産党の提言

1 正社員があたりまえ—— 非正規から正規雇用への転換をすすめ、 新規採用を増やす

- 派遣から正社員への道をひらくため、労働者派遣法を抜本改正します
- 介護、医療、保育など社会保障を充実させ、新しい雇用をつくります
- 一人で二人分働かせるような長時間労働を法律で規制します
- 自然エネルギーなど環境分野で、ドイツにならい年間6万人の雇用をふやします

このまま
働けないんじゃないかって
不安です

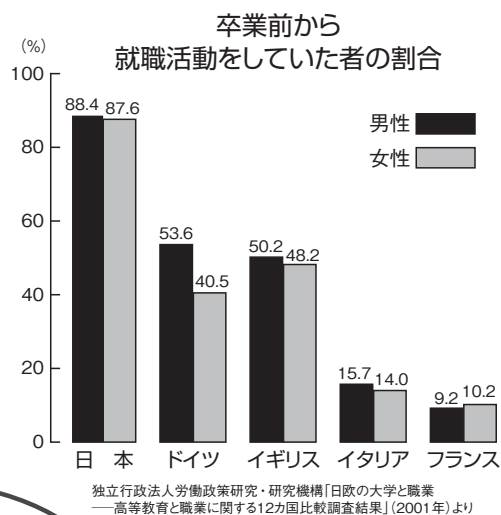


2 過酷で異常な 就活の改善にとりくむ

- 会社説明会、面接の開始日などで社会的なルールをつくります。企業・大学・学生など関係者で構成する機関をもうけ、運用状況を監視します
- 違法な内定取り消しをやめさせます
- 卒業後3年間は「新卒扱い」として就職をあっせんするよう企業と大学を指導します
- 奨学金の返済が困難な場合の救済措置をつくります



就活のため、
春から1回も授業に
出られません



使い捨て雇用をひろげる財界に/ モノをいう党が伸びれば政治を前に動かせます

社会人の第一歩が失業者という社会は、異常であり特別に深刻な事態です。

景気の低迷だけでなく、大企業のもつめるままに非正規労働をまん延させたように、まともな経済のルールをつくらない政治の責任も重大

です。日本共産党は、大企業に対して、「働く人を大切にしてこそ、大企業も発展するし、社会もうるおう」ときっぱりとモノがいえる政党です。

学生のみなさん。就職難をもたらした経済のあり方と政治をかえ、若者が大切にされる働き方にしていくために力をあわせましょう。



2010年6月号外
(1952年5月30日 第三種郵便物認可)

発行●日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL03-3403-6111(代表) FAX03-5474-8358 ホームページアドレス <http://www.jcp.or.jp>
日本共産党の見解を紹介します。あなたのご意見、ご感想をお寄せください。

携帯ホームページ見ても★

